

## 【作り方説明書】

## ギャザースカートの型紙

<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・40cm ソフビ</li> <li>・45cm ソフビ</li> <li>・50cm ソフビ</li> <li>・58cm ソフビ M,L,LL</li> </ul> <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>【イージー】 / ノーマル / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <p>0.18mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やや薄手～普通生地</li> <li>・3mm 幅くらいの平ゴム</li> </ul>
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①②裏スカート 2枚→そのまま2枚</p> <p>③表スカート 1枚→そのまま1枚</p> <p>④ゴム通しパーツ 1枚→ //</p> <p>合計：4枚 のパーツで構成</p>

## ■必要な布量参考数値

【ギャザースカートの型紙 40,45cm】  
横90cm

縦27cm

表スカート

ゴム通しパーツ

縦22cm  
\*別布

裏スカート

【ギャザースカートの型紙 40,45cm】  
横110,140cm



【ギャザースカートの型紙58cm】  
横110cm (90cm不可)



# 【ギャザースカートの型紙 58cm】

## 横140cm



### 01. 型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

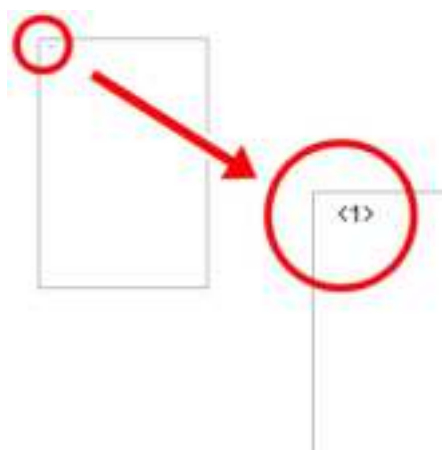
（番号は型紙の左上に記載

※①～④の右図は全型紙共通で 使用しています。

型紙の種類によって貼り合わせる

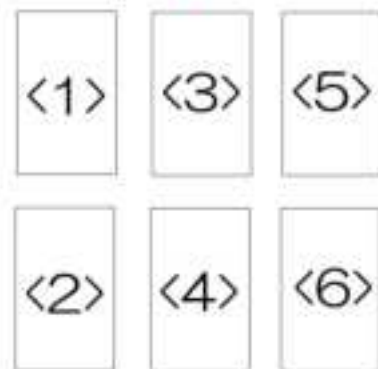
枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については  
各型紙をご覧ください。



② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

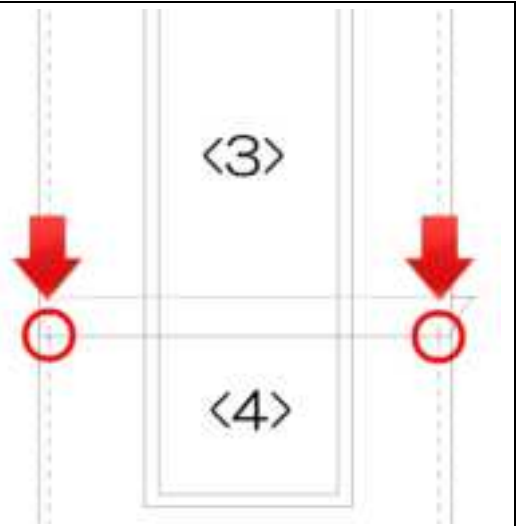
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

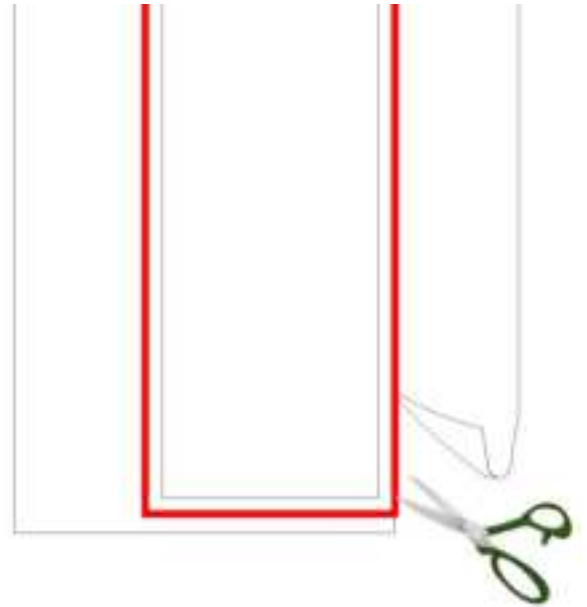


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



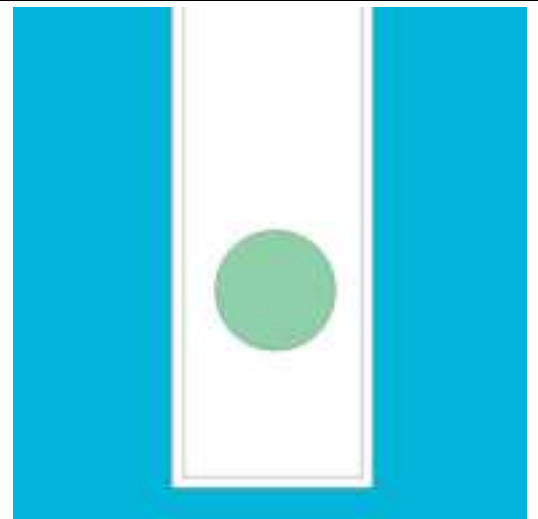
02. 型紙を切り取る。

02～07の右図は全型紙共通で使用  
しています。



03. 布を裏にして型紙を置く。

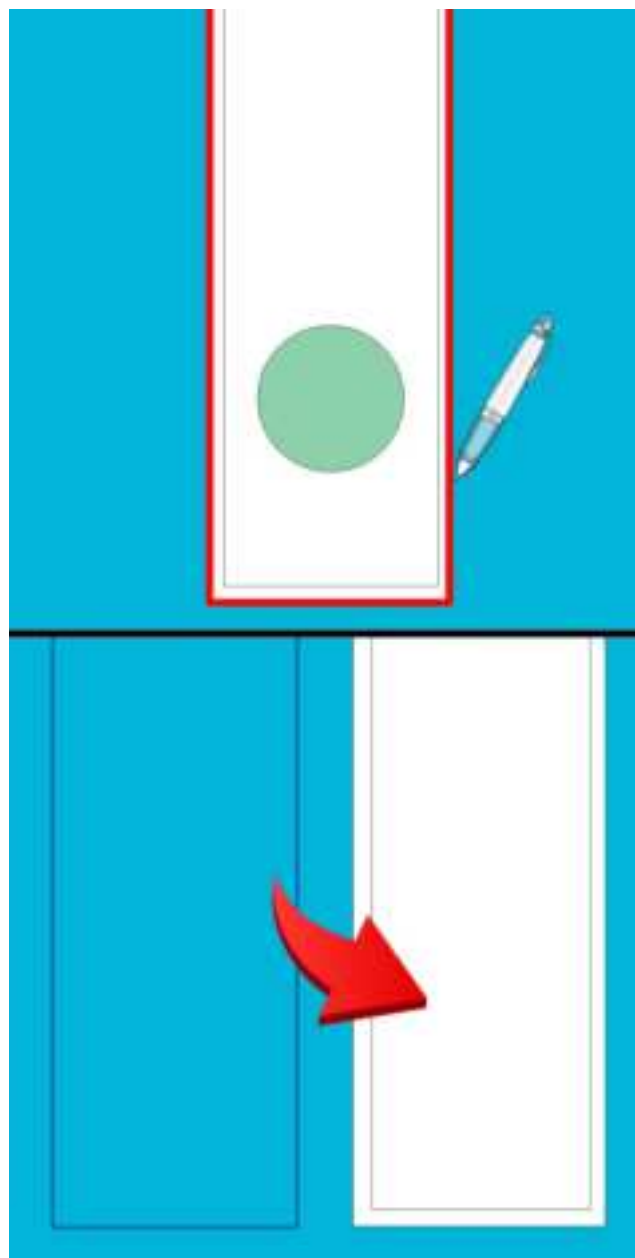
まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動  
かない様にする。



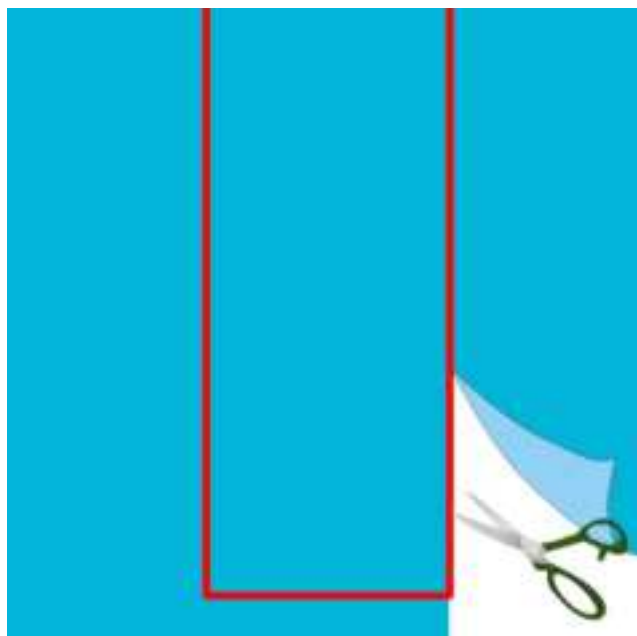
04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

※オススメのチャコペン

- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
- ・クロバー 水性チャコペン

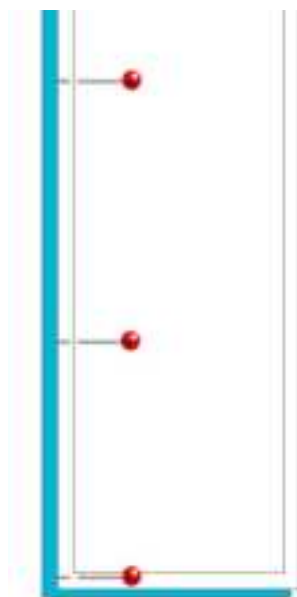


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

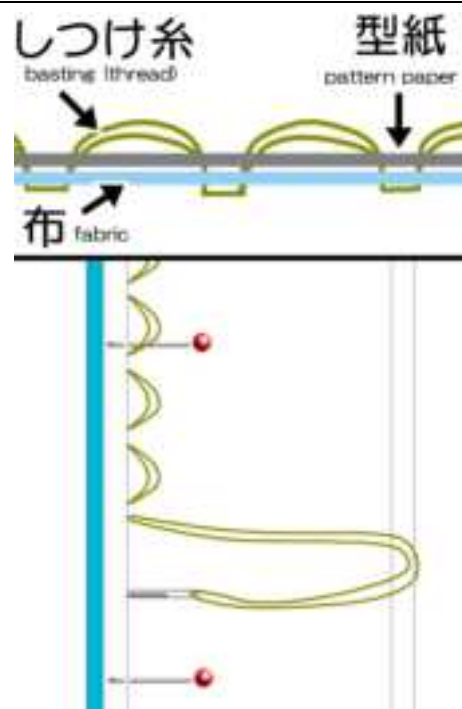
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

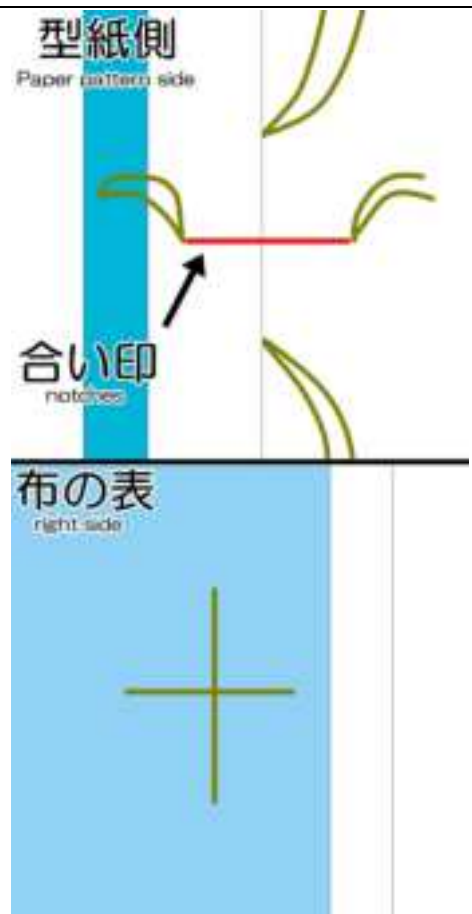
〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕







- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. 表スカートの裾、ゴム通しパーツの片方、裏スカートの片方にロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。  
布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。

表スカート  
front fabric skirt



裾  
hem

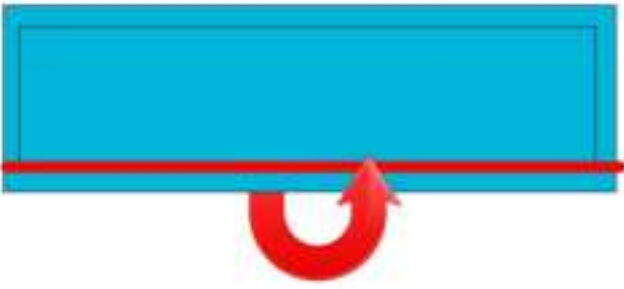
ゴム通しパーツ  
Parts for threading elastic



裏スカート  
back fabric



09. 表スカートの裾を出来上がり線で折る。

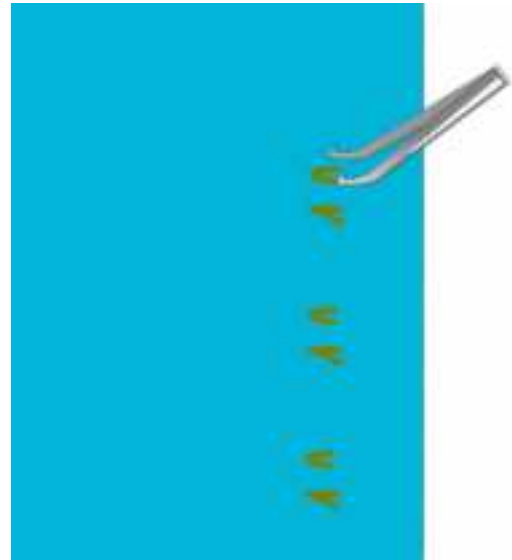


10. 縁を縫う。

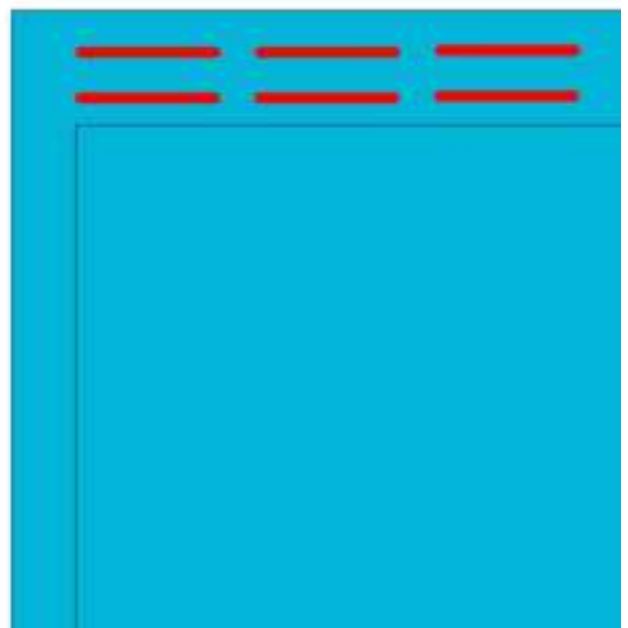


11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく〕



12. 表スカート上に”ギャザーを寄せミシン”を縫う。



①ミシンの上糸の糸調節を“弱”にする。

〔ダイヤルの場合は0にする。〕



②縫い目の長さを 4mm 程度にする。

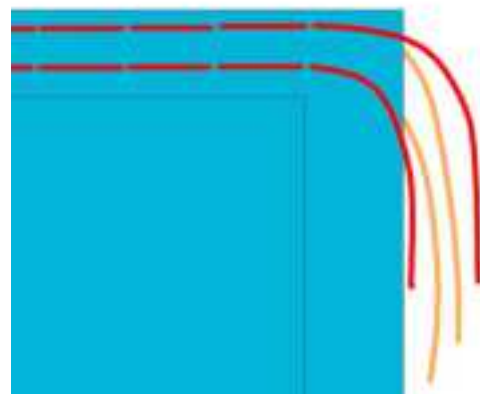


③縫い始めの糸は上下共に 10cm 以上出しておく。

〔上糸と下糸の色を変えておくと、後でわかりやすい。〕



④布の端から 2mm 程度のところを縫い、  
縫い終わりの糸も 10cm 以上残して切る。  
2 本目は布端から 4mm 程度のところを縫う。

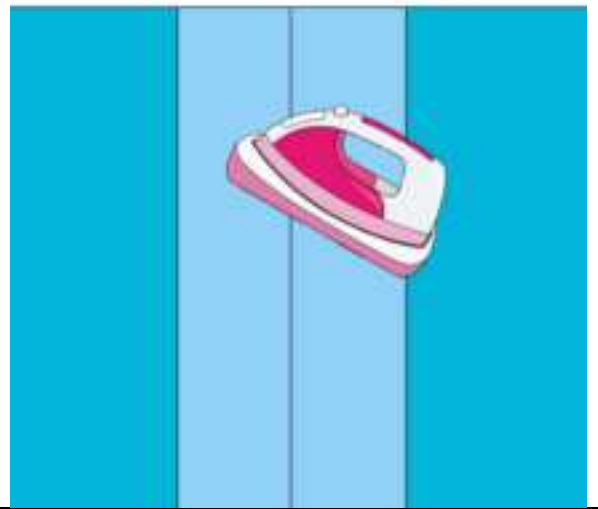


⑤上糸の調節 (①) と、縫い目の長さ (②) を元に戻す。

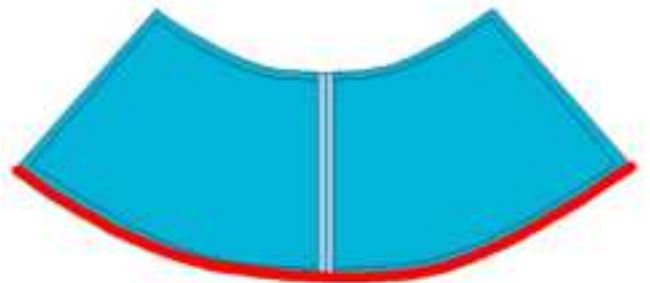
13. 表が内側になる様に、  
裏スカートを合わせて片側を縫う。  
〔 解れ止めをした方同士を合わせる。〕



14. 縫い代を左右に開いて、アイロンをかける。

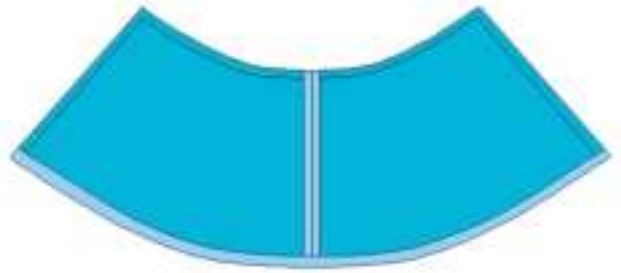


15. 裏スカートの裾に、  
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

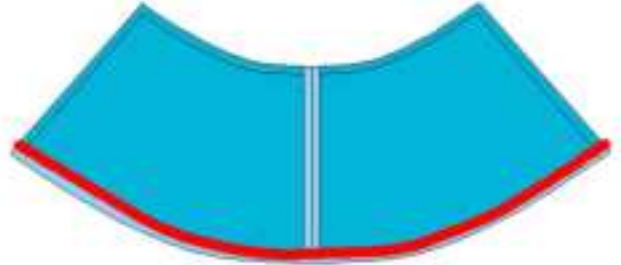


16. 裏スカートの裾を出来上がり線で折る。





17. 縁を縫う。



18. 表スカートと裏スカートを合わせ、ギャザーを寄せせる。

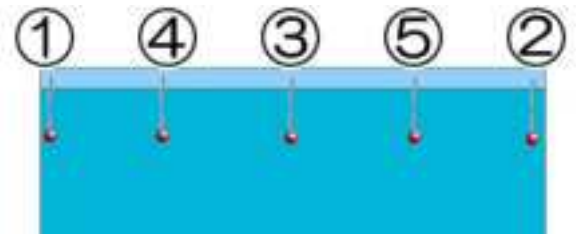
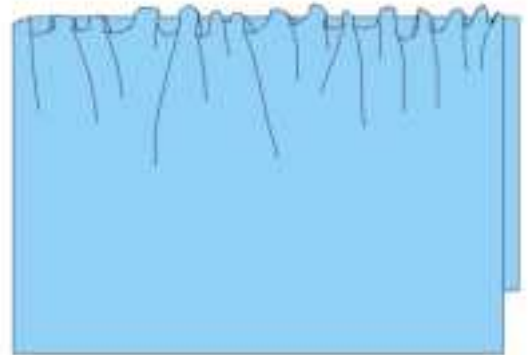
両方とも表を上にして合わせる。

待ち針は

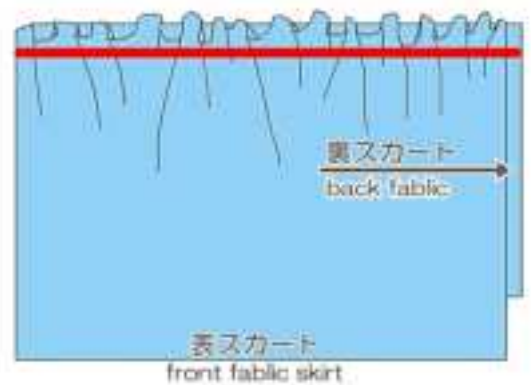
①②布の両端からとめる。

③次に中央

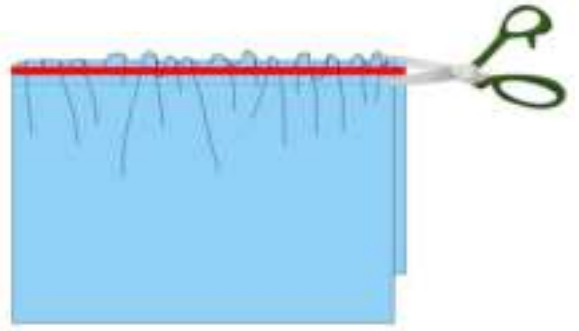
④⑤最後にその間を埋める様にとめていく。



19. 4mm 程度の縫い目で縫う。

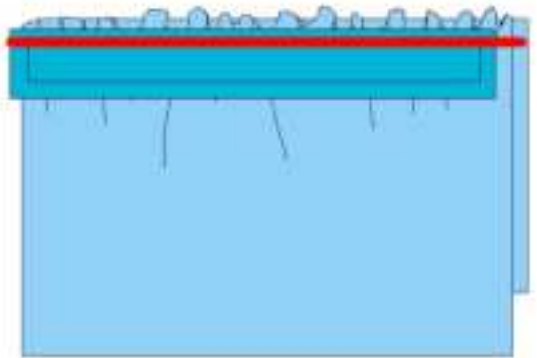


20. 縫い代を 5mm 程度にカットする。

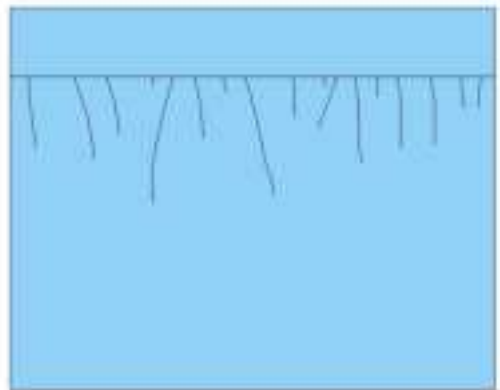
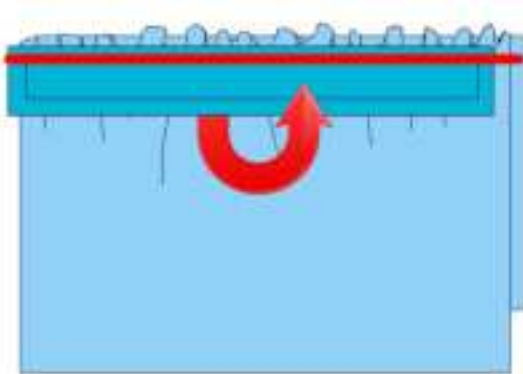


21. 表が内側になる様に、  
スカートとゴム通しパーツを合わせて縫う。

〔 解れ止めをしてない方を合わせる。〕

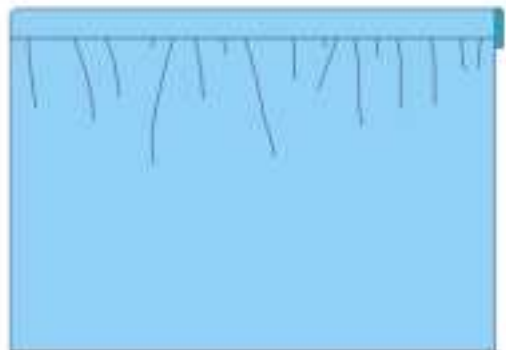
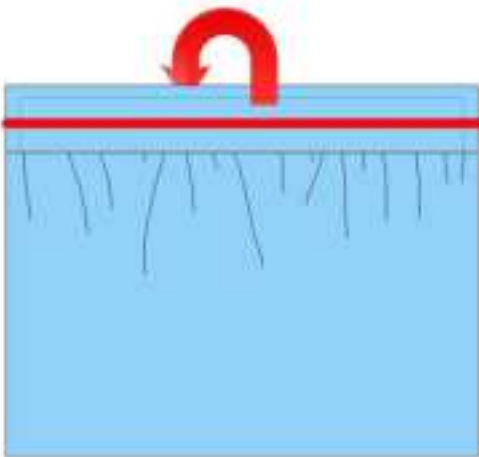


22. 折り返す。

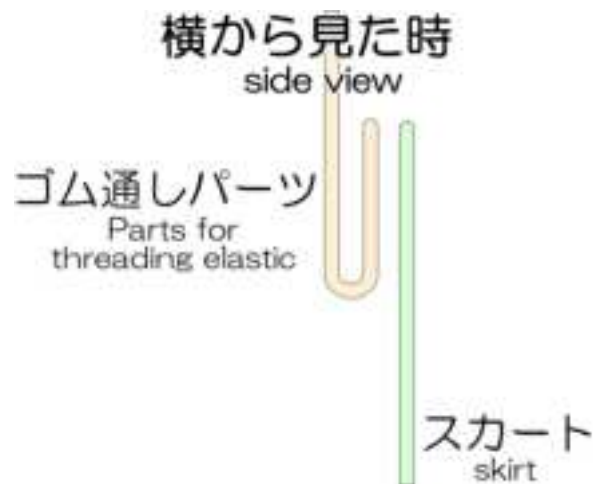


23. ゴム通しパーツを半分に折る。

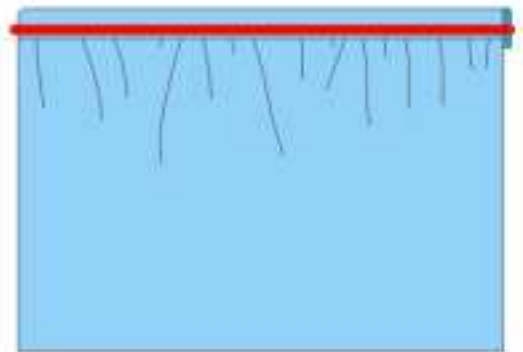
〔 縫い代はゴム通しパーツ側に倒す。〕







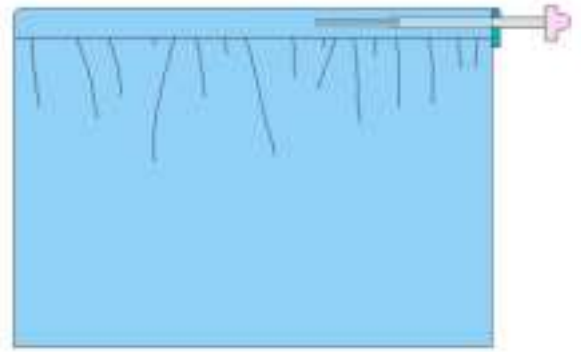
24. 縁を縫う。



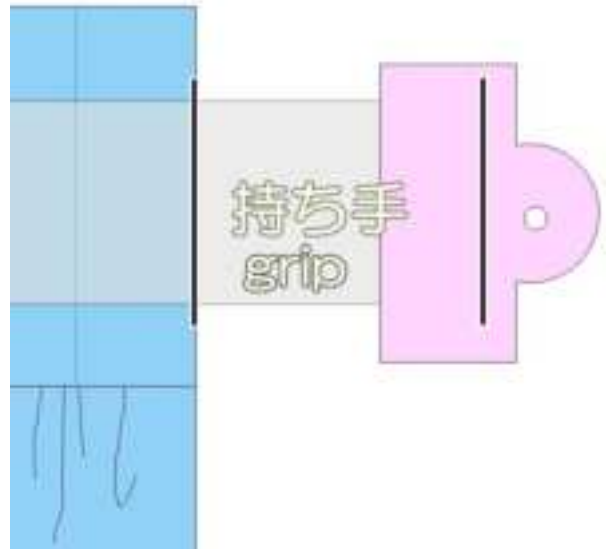
25. ゴム通しパーツにゴムを通す。

ゴムの長さ：17.4cm（持ち手部分を含む）  
市販のゴム通しを通らない場合は、  
安全ピンでも代用可能。  
反対側に最初にクリップ等をはさんでおく。

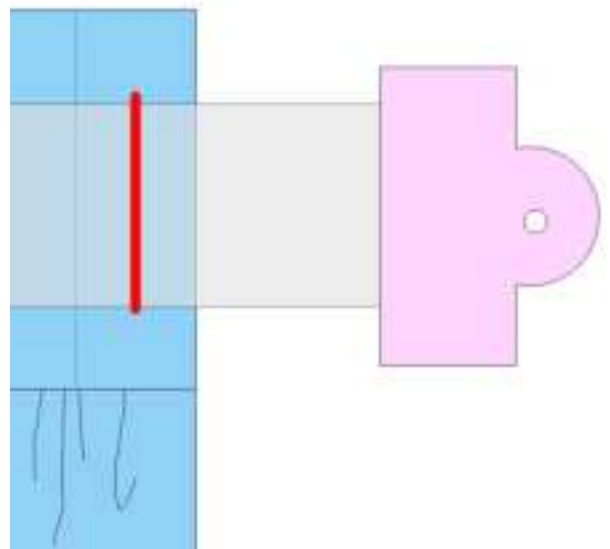




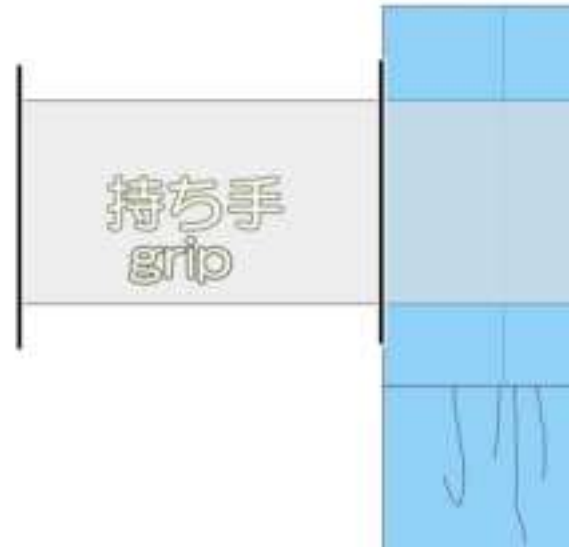
26. 持ち手を脇の縫い代に合わせる。



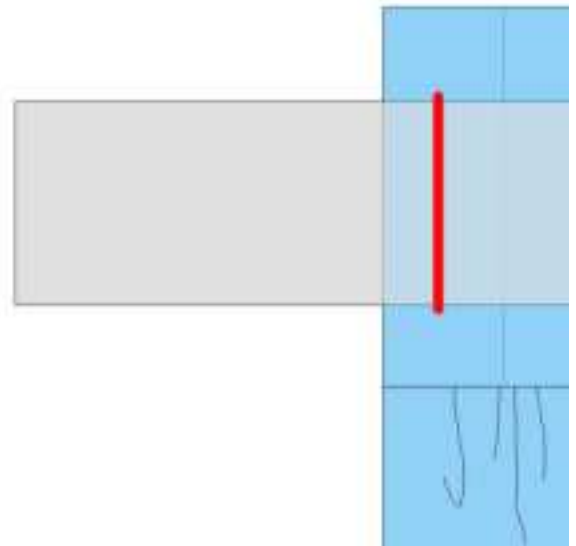
27. 縫い代にゴムを縫いとめる。  
縫い終わったら、クリップを外す。



28. ゴムを引き、反対側に持ち手を出す。

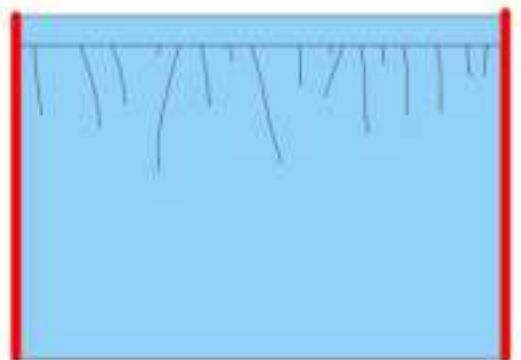


29. 縫い代にゴムを縫いとめる。

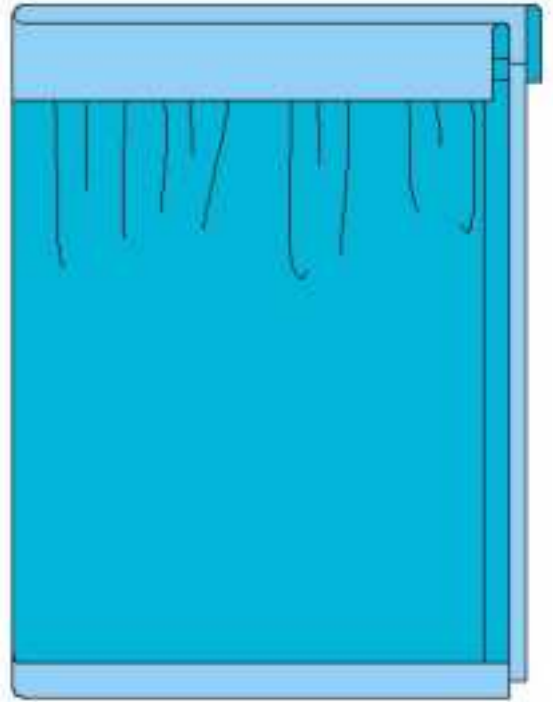
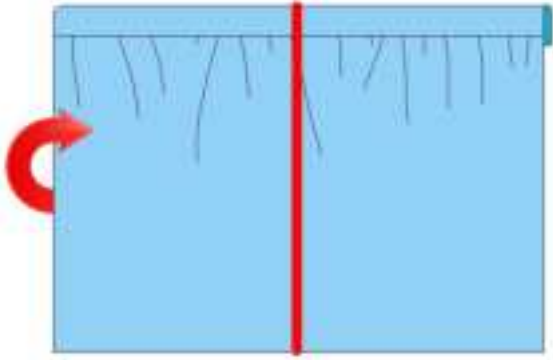


30. 持ち手部分をカットする。

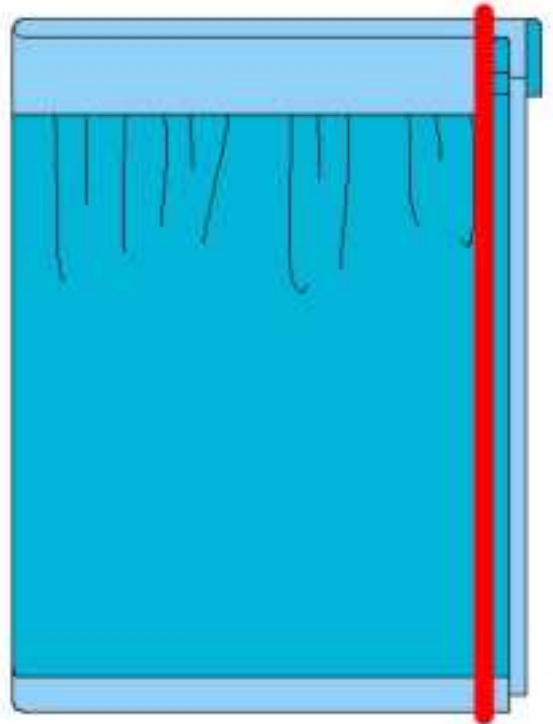
31. 両端をロックミシンか、  
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



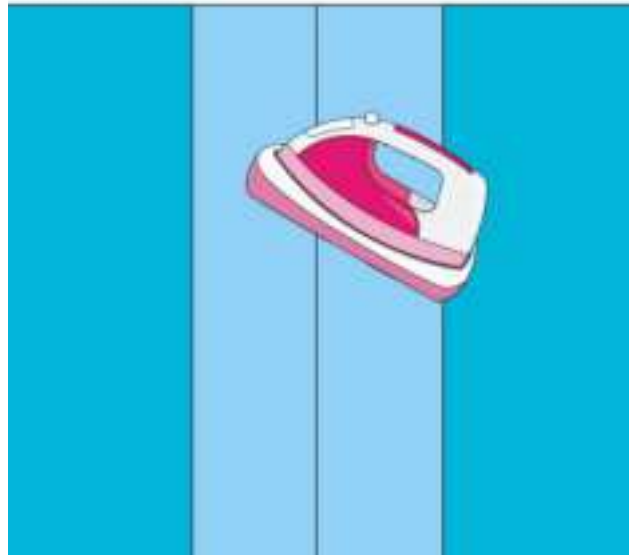
32. 表が内側になる様に合わせる。



33. 端を縫う。



34. 縫い代を左右に開いて、アイロンをかける。



---

35. 表に返す。

---

お疲れ様でした！